



JA 胎内市新之助研究会

研究会の概要

<研究会主宰者>

胎内市農業協同組合
(胎内市)

<生産実績 (令和元年度) >

作付者数・・・21名

作付面積・・・53.3ha

検査数量・・・309.8トン

食味・品質基準適合状況

基準適合・・・309.8トン

(基準適合率 100%)

基準不適合・・・t

〔うち ｸﾞﾊﾟｸ質含有率 : - t
整粒歩合 : - t
玄米水分 : - t〕

取組の概要

1 栽培管理対策

- ・ 3月、4月、7月、9月に全会員を対象に研修会や巡回を実施
- ・ 随時「新之助メルマガ」や生育データ等の情報を会員に発信
- ・ カントリーエレベーターでの荷受け体制を整備するとともに、肥料等の統一化や適正な移植時期の指導を徹底し、ばらつきの少ない高品質な新之助生産を目指す

2 GAPの実践

- ・ 4月の巡回時には育苗ハウス内に苗配置表等の異品種混入対策が講じられているかを確認し、混種事故を防止
- ・ 作付け前までに会員の栽培計画、ほ場図面等の書類を確認することで使用農薬の登録確認等、農薬の適正利用を指導
- ・ 田植え後は漏生籾の抜き取り指導や農機具等の点検及び清掃の徹底について指導
- ・ 収穫前には農薬等の使用状況をチェックし、適正な使用となっているかを確認
- ・ 将来的には全ての会員によるJGAPの認証取得を目指す

3 区分集荷・販売

- ・ カントリーエレベーターでの荷受けと色彩選別機を使用
- ・ 荷受け時には目視で整粒歩合を確認し、成分分析計で玄米タンパク質含有率を測定し、基準適合米のみを荷受け
- ・ 会員21名のうち14名がカントリーエレベーターを利用することで食味の均一化や高度調製が可能になり全量1等を達成